

■□■2014年度 北海道大学大学院経済学研究科 社会経済学研究会 ■□■

【時間】16:00～

【会場】W303 教室

※ 報告は、一人あたり120分（報告30分、コメント及びコメントへの返答30分、その他の質疑応答60分）。

No.	日時	報告者・論題	討論者
1	4/24	橋本 努 福祉国家の哲学的基礎—潜勢的可能性としてのケイパビリティ	菊池 真
2	5/22	岡部洋實 不況論—原理論からみた要点	藤村哲史
3	6/26	藤村哲史 先行研究におけるシーニアの評価	金 仁子
4	7/24	小林佑太 マートンの知識社会学	岡部洋實
5	9/25	金 仁子 韓国の最低賃金をめぐる争点に対する一考察	橋本 努
6	10/16	吉井 哲（名古屋商科大学） 価格と数量の同時決定体系への転換—経済学観の分岐点—	佐々木憲介
7	11/20	西部 忠 情報化とサービス化の複合傾向としての脱工業化	小林佑太
8	12/18	菊池 真 制度の経済学における基底的制度理論の構築に向けて —J.R.コモンズの制度理論と新たな制度理論に向けた展開—	西部 忠
9	2015/1/22	小林大州介 Schumpeter as a Diffusionist: A New Interpretation of Schumpeter's Socio-cultural Evolution Theory	小林陽介
10	2015/2/19	小林陽介 金融化と金融資本研究	佐々木憲介